

令和7年度 飯塚市シニアクラブ連合会事業報告

飯塚市シニアクラブ連合会は、地域を基礎とする高齢者の自主的団体として、「健康」「友愛」「奉仕」の精神を踏まえ、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活や地域を豊かにする様々な活動に取り組んできました。令和7年度に団体名称を、飯塚市老人クラブ連合会からは飯塚市シニアクラブ連合会へ改称し、新たなニーズに呼応した高齢者の生きがいづくりに取り組みました。

会長、副会長等で構成する役員会を毎月初め定期的に開催し、本会の円滑な活動と5支部間の連絡調整を行い事業の推進を図りました。また、健康・女性・福祉の専門部会の開催を重ねて各事業の円滑な活動の調整を図りました。

県老連主催の研修会・講習会は、単位クラブ新任会長研修会、体力測定講習会、高齢者相互支援リーダー研修会等に多くの会員が参加し、クラブ活動の資質向上に努めました。

また、女性リーダー研修会やシニアスポーツレクリエーション活動講習会には多くの女性会員が参加し、シニアクラブ活動の向上に向け研修に取り組みました。

女性部会が中心となって実施しているふれあいマージャン交流会は8月と2月の2回開催し、多くの女性会員が交流し、競技の参加者、地域が拡大してきました。

健康づくり事業では、グラウンド・ゴルフ、ペタンク、ゲートボールの3大スポーツ大会を開催しました。5月から6月に飯塚市長杯グラウンド・ゴルフ大会をはじめ、ペタンク大会、ゲートボール大会を開催し、各大会の上位入賞者は福岡県大会、筑豊地区大会の参加出場となるため熱戦が繰り広げられました。

また、令和7年度は、民間助成を活用した高齢者による高齢者のためのアクティブシニアプログラムとして、ペタンク講習会、グラウンド・ゴルフ競技会、フレイル教室を企画し、会員以外の高齢者も気軽に取り組める事業にも取り組みました。

文化事業として、第11回新春カラオケ大会を記念大会として1月23日開催しました。会場ではカラオケのほかコーラス、詩吟、踊り等のバラエティにとんだ演目が披露され、出場者の熱唱に熱い声援を送られました。

高齢者向け体力測定事業は、高齢者一人ひとりが自分の体力を知って、運動の習慣を身につけ、介護予防・健康づくりに役立てるもので、体力測定会、栄養管理の知識と食生活の向上について学ぶ高齢者料理教室など健康づくり事業の延開催回数は5支部合計で60回、参加者は1,918人となりました。

高齢者地域支え合い活動として、高齢者ネットワーク推進事業(愛の一声運動、友愛訪問)にシニアクラブの支援活動員が取り組んでいます。令和7年度には58クラブで186人の支援活動員が、延べ6,277回訪問活動を行い、安否確認、生活支援等活動を行いました。

奉仕活動では全国老人クラブ連合会が提唱し全国的に展開している9月の「社会奉仕の日」を中心に地域において奉仕活動を行いました。自治会や子ども会等の地域の団体と協力して公共的施設の清掃などの美化活動や資源ごみ回収などの環境にやさしい活動に取り組みました。参加クラブ数67クラブ、参加会員数延べ4,142人と各支部・各単位クラブで活発な活動を展開しました。

組織活動の強化に向けた取り組みとして、会員増強運動を引き続き実施しています。令和7年においては、自治会との連携を図るため、自治会長理事会、地区自治会長会へ単位クラブの設置、新規会員の加入促進の協力をお願いし、自治会との連携、それぞれの地域における草の根活動を通して会員加入の呼びかけをすすめてきました。令和7年度は会員の増加が顕著なクラブとして県老連から6クラブ、特別賞として新規1クラブが表彰されましたが、飯塚シニア連全体では減少傾向で、令和8年4月現在、単位クラブ数65クラブ、会員数1,807人となっています。